

図書 紹介

おもしろサイエンスカビの科学

著者：李 憲俊(衛生微生物研究センター)

発行：日刊工業新聞社／〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1／

電話 03-5644-7490／A5 判／134 頁／価格 1,600 円（税別）／2013 年 6 月 25 日発行

本書は、多くの人にカビを正しく知ってもらうために「カビとはどういう生物なのか」、「カビが生きるためのシステムとは」、「カビは健康にどのような影響を与えるか」、「カビが発生する理由と対処法」、「カビと人との関係とは」、「住環境にはどのようなカビがいるのか」、「カビはどのように検査するか」の7つの視点、51項目から構成されている。

第1章 地球に生きる生物としてのカビー カビとはどういう生き物なのか

第2章 カビの生理と生態ー 生きるためのシステムと発育条件

第3章 カビによる健康被害ー カビは怖い生物なのか

第4章 生活の中のカビ対策ー こうしてカビは防ぐ

第5章 カビと生きるー カビと人間の深い関係

第6章 住環境にみる主要カビー 身近なカビたちの素顔と生活

第7章 カビの調べ方ー カビの検査の手法あれこれ

次に内容を見ていくと第1章では、カビとはどういう生き物なのか？ 菌類の特徴と仲間たち／生物の進化とカビの誕生 カビと人間の関係は？／生活環境の微生物（1）細菌とカビはどこが違うのか？／生活環境の微生物（2）母が娘を産む？酵母の増え方／生活環境の微生物（3）カビの増え方と形の関係などである。

第2章では、カビの基本構造ー菌糸 生き抜くための多彩な能力／カビといえば湿気？カビと水分の本当の話／こんなところにもカビが！ 様々なものに生えるカビ／カビの驚くべき成長力 一粒の種が一週間で森に!？／乾燥に強いカビたち 好稠性カビのすごい能力／カビは何度まで生えられるか？ 温度を感じて生き抜く戦略などである。

第3章では、目に見えない空中のカビ 健康への影響をどう評価するか／不快だけではすまない カビ臭と健康被害の関係／正しく知ろう！ 肺炎コウジカビの健康リスク／見た目の判断は危険！ カビ毒は削って焼いても除けない／気候変動はカビに何をもちたらすのか？／有害なばかりではない カビが病気治療の役に立った話などである。

第4章では、なぜ乾燥した室内にカビが？ ピンポイントでみるカビと湿度／換気扇では不十分？ 効果的な浴室のカビ対策とは／室内のカビ対策のポイント カビは空気の流

れが苦手／カビが生えたらどうする？ カビ対策の3つの基本などです。

Point には、室内のカビ対策～家の中にカビを生やさないために～／室内にカビが発生したら～被害を出さない、広めないために～である。

第5章では、日本の伝統家屋にみる カビと生きるための工夫／現代住宅とカビ 快適性と裏腹の問題点／日本の食生活とカビ (1) コウジカビの恵み、みそ、しょうゆ／日本の食生活とカビ (2) 日本料理の心、カツオブシ／日本の食生活とカビ (3) 日本の至福、日本酒、焼酎／西洋の食生活とカビ 芳醇な味わい、チーズ、ワインである。

第6章では、有益だけど有害？ 聖なる名前をもつコウジカビ／本当は黒くないクロカビ あの手この手で生き残る／ブラシのようなボサボサ頭 アオカビは多芸多才／脅威の速さで菌糸を伸ばす 見た目はふわふわ、クモノスカビ／まるで虫！ ススカビは個性的な見た目の汚染カビ／キュートな色に惑わされるな！ アカカビの多様な悪役ぶり／長い長いおつきあい 虫ではなかった水虫の話などである。

第7章では、カビの同定法 (1) カビを見分けるポイント／カビの同定法 (2) 分生子の作り方に注目！／カビの培養法 カビの育て方の基本／カビ数測定法 カビは育てて数える／空中浮遊カビ測定法 空気中のカビのつかまえ方である。

Column には、なぜ「カビ取り剤」はあっても「細菌取り剤」はないのか？ ／一度カビの胞子を飛ばしてしまうと後が大変！／カビは、増やさないことが一番大事などである。

本書は、カビの研究現場を踏まえた 30 年のキャリアーの著者の解説であり、初心者でもわかりやすく、知りたい情報が得られる。気になったのは、気候変動がもたらす温暖化の影響である。熱帯のカビが北上してくる危険性と温帯性のカビの生態が変化する危険性である。まだ具体的な話はないが、可能性としていつ具体化してもおかしくない怖い話である。巻頭にはカラー写真、巻末には参考文献・参考資料も載せられており、会員諸氏にもカビの知識の整理には打ってつけである。(学会事務局)